

事業所名

あるかな (旧すたあ)

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

3 日

法人 (事業所) 理念		・心身に障害のある乳幼児・児童に対し、成長を助長し、集団の中に入っていき力を身につけると共に、関係機関・教育機関と連携を図りながら将来を見通し自立の促進を図る指導訓練を実施する。 ・事業を通じて、集団の中で活動することで社会性を育成し、社会に参加していく力を身につけることを中心に活動し訓練を行う。								
支援方針		私たちは生活の中で、困難さや生き辛さを感じている子どもたちに社会性、コミュニケーション力、協調性を育成し、同時に基礎的学習の定着を目指すことにより自己肯定感を高めてもらいたいと考えています。また、社会経験を積み上げて行くことにより、ルールやマナーを学んで欲しいと考えています。そのため、児童関連の施設での勤務経験、または教育資格のある、共通の目標を持ったスタッフを配置しております。時間やスケジュールの管理、適切な交流の方法や学習などの一人ひとりの苦手やつまづきに合わせて療育を行います。								
営業時間		9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○健康の増進、基本的な生活スキルの獲得や生活におけるマネジメントスキルの育成。 ○障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化。								
	運動・感覚	○日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上。 ○感覚統合遊びを通して、楽しみながら身体の発達の促し。(粗大運動・微細運動) ○感覚や認知の特性を考慮し、環境調整等の提案及び支援。								
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応。 ○活動を通して、数や形、大きさ、重さ、色の違い等の習得。 ○行動障害への予防及び対策等								
	言語 コミュニケーション	○学習を通して多くの言語を身に付け、それに伴うコミュニケーションの基礎的能力の向上。 ○一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援を行う。(指差し・身振り手振り・サイン等)								
	人間関係 社会性	○集団活動の中で、役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を目指す。 ○情緒の安定 ○他者との関りの形成								
家族支援		家族が身近な地域の中で安心して過ごせるよう、レスパイト支援や助言等を行う。				移行支援		卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、各関係機関との連携を図り、調整を行う。		
地域支援・地域連携		各関係機関と連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援する。				職員の質の向上		事業所内研修・外部研修の派遣		
主な行事等		ハロウィンイベント ○クリスマス会 ○節分豆まき会 ○社会体験 (お買いもの体験・公共交通機関の利用など)								